

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	GX614／教育心理学(D) (Educational Psychology (D))		
担当者名 (Instructor)	野口 隆子(NOGUCHI TAKAKO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CET1100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身に付け、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる教育心理学的観点からの生徒理解や授業方法についての考え方を理解する。

授業の内容 (Course Contents)

幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解するとともに、学習に関する基礎的な知識を身に付け、また発達を踏まえた学習を支える指導についての基礎的な考え方を理解する。さらに、心身のしょうがい、発達しょうがいを持つ生徒の心理、学習過程と指導について学ぶ。

授業計画 (Course Schedule)

1. 授業ガイダンス(授業内容および進め方)・乳幼児期の人格発達
2. 児童期・青年期の人格発達
3. 乳幼児期から青年期の認知発達
4. 乳幼児期から青年期の言語発達
5. 乳幼児期から青年期の運動発達
6. 心身のしょうがいの基礎理解と指導法
7. 発達しょうがいの特性と指導法
8. 学習理論
9. 動機づけ
10. 集団と学習
11. 教育評価
12. 主体的学習とは
13. 主体的学習の指導
14. 学校教育に活かす教育心理学とは・授業のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

毎回のテーマについて関心を持ち、テキストや参考文献を一読すること。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

授業内課題の提出(40%) / リアクションペーパー、授業への積極的取組の態度(60%)

テキスト (Textbooks)

1. 藤原和政・谷口弘一(編著)、2021、『学校現場で役立つ教育心理学』、北大路書房 (ISBN:9784762831799)
適宜、レジュメや資料も配布する。

参考文献 (Readings)

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

文部科学省、2017、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン(平成29年3月、本文)
<http://s.rikkyo.ac.jp/edupsy>
授業の進め方等については、授業内での指示に従うこと。

注意事項 (Notice)